

アクセスできるドライブ・フォルダ・ファイルを限定する

- ☆管理者が意図したデータアクセスコントロールを実現
- ◎セキュアなドライブ・フォルダ・ファイルの作成
- ◎リムーバブルドライブの使用禁止 ※USB-HDD含む
- ◎許可アプリケーションのみリムーバブルドライブ・フォルダにアクセス
- ◎DOSコマンドからのアクセスも制限
- ◎ネットワーク共有アクセスを制限
- ◎許可アプリケーションのみアクセスできるフォルダ
- ◎業務アプリケーション(プロセス単位)にアクセス先を限定

アプリケーションを限定する

- ◎管理者が把握していないアプリケーションは一切使用させない設定(使用限定)
- ◎使用禁止アプリケーションの登録
⇒ ゲーム、赤外線通信、特定メールソフト、etc

インターネットアクセスを制限する

- ◎社内サイトや関連サイト(URLキーワード)のみアクセス許可する
- ◎Webメールページ(URLキーワード)へのアクセスを禁止
- ◎掲示板などの特定サイト(URLキーワード)へのアクセスを禁止

各種ログを記録(収集)する

- ◎ディスクアクセスログ(論理ドライブ、種別ドライブ、ネットワークドライブ)
- ◎番号復号ログ・印刷ログ
- ◎インターネットアクセスログ
- ◎ドライブマウント履歴ログ
- ◎ログオン履歴とDefenseWin認証・有効ポリシーログ
- ◎ウィンドウ履歴ログ
- ◎電源状態変化履歴ログ
- ◎コママネージャによるクライアントログ収集機能
- ◎ログファイル名にクライアントのMACアドレスと使用者を識別情報を追加

デバイス単位の使用制限

- ☆デバイス登録した装置の利用に限定します
- ◎シリアル登録したデバイスだけ許可する
- ◎シリアル登録済みデバイスは読み込み、または自動暗号書出
- ◎セキュリテータイプのメモリ(HDD)だけ使用許可する
- ◎シリアル登録したメモリだけに書出許可する
- ◎USBメモリ登録済み製品の一部は動作保証済みです。詳しくはお問い合わせください。

印刷を確実に制限する

- ◎すべての印刷を禁止にする
- ◎印刷許可アプリケーション、許可ファイル
- ◎禁止アプリケーション、禁止の例外の指定

コママネージャによるリモート管理

- ◎DefenseWinクライアントの自動検出と管理
- ◎ポリシー環境の作成・管理と自動・手動配信
- ◎DefenseWinクライアントの各種ログを自動・手動収集
- ◎DefenseWinクライアントの自動監視状況表示
- ◎DefenseWinクライアントの状態監視
- ◎DefenseWinクライアントの使用者情報(部署名、名前)確認
- ◎DefenseWinクライアント操作(再起動・シャットダウン)
- ◎DefenseWinクライアントへのヘルプアップ版配布
- ◎CSVファイルによるリストのインポート・エクスポート
- ☆クライアントからの送信機能(相対・絶対時間、定期送信)
- ◎クライアントからログ送信する
- ◎クライアントから環境取得する

動作環境の変更を制限・抑止する

- ◎画面ハードコピーの禁止(PrintScreen禁止)
- ◎コントロールパネルの各種設定画面の禁止機能
- ◎ネットワーク設定変更を制限する
- ◎日付と時刻の変更禁止
- ◎画面プロパティ変更禁止
- ◎タスクマネージャへのDefenseWinプロセス非表示

ウィンドウ制限を行う

- ◎ウィンドウタイトルで禁止/許可を行う
- ◎ウィンドウ履歴ログを記録する

DefenseWinPRO 製品体系と動作環境

商品名	機能	動作環境
DefenseWinPRO SE (Secure Enhanced)	統合商品 DefenseWinPRO+暗号制御オプション+印刷制御オプション	推奨ハードウェア OSが快適に動作するCPU速度、メモリ容量 ハードディスク 10MB以上の空き領域(インストール時) ディスプレイ 800×600以上 サポートOS Microsoft® Windows® XP Professional SP3(32ビット版) Microsoft® Windows Vista® Ultimate, Enterprise, Business (32ビット版) Microsoft® Windows® 7 Ultimate, Enterprise, Professional
DefenseWinPRO	・システム制限機能 ・アクセス制限機能 ・ネットワークアクセス制限機能 ・各種ログ記録機能 ・ファイル・フォルダの暗号化/復号化機能 ・共通暗号方式・自己復号型暗号方式 ・組織階層別共通暗号・復号機能 ・暗号・復号ログ記録機能 ・印刷制御(禁止/許可/フィルタ)機能 ・印刷ログ記録機能	条件サポートOS(※) (32ビット版) Microsoft® Windows® 95 Microsoft® Windows Me Microsoft® Windows NT® 4.0(SP6a~) Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® XP Professional SP2まで
暗号制御オプション	・ファイル・フォルダの暗号化/復号化機能 ・共通暗号方式・自己復号型暗号方式 ・組織階層別共通暗号・復号機能 ・暗号・復号ログ記録機能	WWWブラウザ (シフト制限利用時) Microsoft® Internet Explorer® 5.5.x~8.0 Netscape® Communicator 4.7x
印刷制御オプション	・印刷制御(禁止/許可/フィルタ)機能 ・印刷ログ記録機能	対応プロトコル (インターネット制限利用時) HTTP/1.0
ウィンドウ制御オプション	・ウィンドウ制御(禁止/許可)機能 ・ウィンドウ制御ログ記録機能 ※ DefenseWinPROまたはDefenseWinPRO SEのVer.3.08.010以降がインストールされた環境で動作します	推奨ハードウェア OSが快適に動作するCPU速度、メモリ容量 ハードディスク 10MB以上の空き領域(インストール時) ディスプレイ 1024×768以上 サポートOS Microsoft® Windows® XP Professional SP3 Microsoft® Windows Vista® Ultimate, Enterprise, Business (32ビット版、64ビット版) OSについては、WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64-bit環境で動 作します。ただしWindows XPは動きません。)
DefenseWinPRO コママネージャ	・リモート管理機能 ・DefenseWinPROクライアント自動検出機能 ・DefenseWinPROポリシー環境の一括管理・配布・状態監視 ・クライアントログ収集機能 ・DefenseWinPRO V3.7以降クライアント通信機能	条件サポートOS(※) (32ビット版) Microsoft® Windows® 2000 Professional (SP3~) Microsoft® Windows® XP Professional SP2まで

ご注意

※条件サポートOSについて
ご購入前に必ず試用版で動作確認を行ってください。これらのOSに利用するDefenseWinPROの動作実績は多数ありますが、マクロソフト株式会社におけるサポートは終了しています。ご使用中に万一不具合等が発生した場合は御座る。推奨環境にあつては、弊社で対応できない場合もあることあらかじめご了承ください。ご使用しない。なお、マクロソフト株式会社の有料サポート契約、またはシステムサポート契約をされているお客様に関してはこの限りではありません。

※製品体系と価格およびプロダクト保守サービスの詳細は、販売会社またはJFHサポートセンターにお問い合わせください。

・本製品は、Windowsのユーザログオン中に行われる操作、処理に対して制限を行うもので、システムを完全に保護するものではありません。また、コンピュータの構造を熟知した者が故意にシステムを破壊しようとする行為等に有効であるものではありません。
・本製品は、利用者による操作やアクセスを制御し、内部からの情報流出や環境破壊を防ぐものです。ウイルスやスパイウェア、悪意のあるソフトウェアの進入等、外部からの攻撃を防ぐものではありません。DefenseWinによる制限のみでは、定期的なWindows Updateの実施、ウイルス対策ソフトの導入によるコンピュータの保護も行うことを推奨いたします。
・導入するコンピュータの環境によって、本製品の機能がたいはお客様ご希望の要件を満たせない場合や、OSの機能による制限との併用が必要となる場合があります。また、本製品と同様の機能を持つ製品と併用すると正常動作しない場合があります。必ず試用版で十分な動作確認を行った上で購入をご検討ください。
・設定方法を誤るとWindowsが動作しなくなる恐れがあります。ファイル・フォルダ・ドライブへのアクセス制限設定やシステム制限設定を行うときは十分にご注意ください。
・本製品を日本以外の国でご利用になる場合には、外国為替及び外国貿易法などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
・この資料に記載されている内容は、改善のため予告なしに仕様、デザインを変更することがあります。
※ DefenseWinは、株式会社富士通東北システムズの登録商標です。
※ Microsoft及びWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※ その他の製品名及び会社名は、それぞれ各社各団体の商標または登録商標です。

FUJITSU
株式会社富士通東北システムズ
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル
お問合せ先/FJTHサポートセンター
E-mail: tohoku-defensewin@cs.jp.fujitsu.com
http://jp.fujitsu.com/group/tohoku/services/products/defensewin/

【販売代理店】
株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリー
〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403
武蔵小杉タワープレイス
E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com
Tel : 044-739-1251
URL : http://www.ssl.fujitsu.com/

DefenseWin PRO
Secure Enhanced
Windowsマシンセキュリティ強化ソフトウェア

パソコンの情報流出に対する脆弱性をガードし、エンドポイントセキュリティを確実に強化します。



発売開始13周年
Windows 7 & 対応 64ビット版OS
特許出願中

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために
E-mail: tohoku-defensewin@cs.jp.fujitsu.com
http://jp.fujitsu.com/group/tohoku/services/products/defensewin/

Point 1

基本的にUSBメモリの使用は禁止したいが、業務で使いたい場合もある。でもそのたびにセキュリティを解除することはしたくない。

「例外プロセス」機能で解決



- ・通常の操作ではUSBメモリに書き出しできないが、特定の業務アプリケーションからだけはデータ書き出し可能
- ・機密文書のフォルダだけをアクセス禁止、特別なアプリケーションからだけは自由にアクセス可能
- ・他社製品のログ出力フォルダ、他社セキュリティ製品の動作環境もDefenseWinの機能で保護することが可能
- ・未知のマルウェアや暴露ウイルスからも確実にデータを保護

Point 2

操作が難しいと「重要データは暗号化する」運用をなかなか実現できない。操作に不慣れなユーザでも簡単に使える暗号化機能は？

簡単操作で自動的に暗号化



- ・暗号化したいファイルをドラッグ&ドロップするだけ。誰もが簡単なオペレーションで暗号化運用を実現
- ・暗号化ファイルの復号パスワード設定、共通鍵を使用するか自己復号型にするか等は、管理者の設定で自由自在
- ・万一外部に出てしまっても、第三者の手では復元できないので安心
- ・リムーバブル媒体へは共通鍵暗号化書き出し、右クリックメニューからの操作は自己復号形式暗号化書き出し、といったフレキシブルな対応も可能
- ・USBメモリだけでなく、USBハードディスクへの暗号化書き出しにも対応

Point 3

ログは記録しているけど、どう活用していいのかよく分からない。いざというとき本当に使える、セキュリティ対策に有効なログとは？

データフォレンジックにはアクセスログ



他製品

操作ログ	
誰が	いつ
何を	使って
何を	したか

マネジメント対策に有効

- ・操作者の視点の「操作ログ」に対し、DefenseWinのログはファイル側からの視点で記録される「アクセスログ」
- ・万一の事件があったとき、どのファイルがいつ誰にアクセスされたか、何の媒体を使って持ち出されたか正確に追跡できる「アクセスログ」がベスト

Defense Win

データフォレンジックにはアクセスログ				
どのファイル	何をされたか			
いつ	誰に	何を	使って	何の媒体に
アクセスされたのか	アクセス失敗したのか			

セキュリティ対策に有効

- ・情報漏洩していない場合でも、「不正なアクセスがなかった」のか、「不正アクセスを試みて失敗したのか」が、ログから一目瞭然
- ・別売のSafeManagerAdmin (富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー社製) で簡単にログ解析・追跡

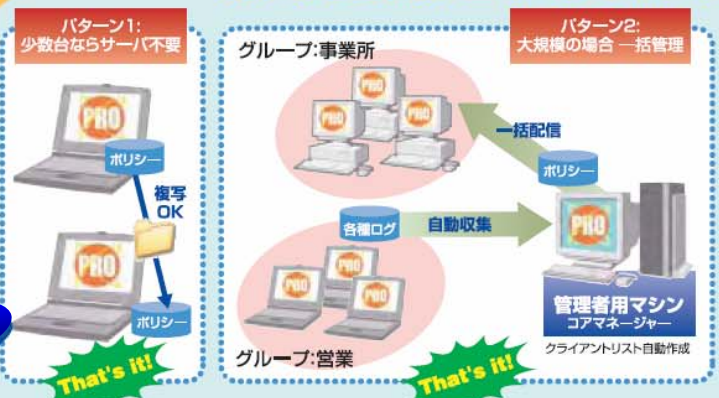
Point 4

いろいろ見たけど、どのメーカーのセキュリティ製品も機能はほぼ同じ。それなら、運用や導入に手間がかからないソフトを選んだほうがいい。

導入/運用がきわめて簡単



Windows 7対応



- ・マシン1台への導入から数千台規模ネットワークまで対応可能
- ・サーバマシンなしでも運用可能
- ・セットアッププログラムは、EXE (実行ファイル) 1つだけ。ネットワーク上でコピーや配信可能クライアントマシンではEXEを実行するだけで完了

- ・ポリシー (制限設定) は、管理者マシンから一括配信。設定変更時も、クライアントマシンはWindows再起動するだけで作業完了
- ・新規導入の場合1台だけを先にセットアップして、それ以外のパソコンはクローン作成も可能